

野里一般廃棄物最終処分場 最終覆土業務仕様書

(令和 7 年度)

特 記 仕 様 書

一 般 仕 様 書

五 所 川 原 市 民 生 部

環 境 対 策 課

特記仕様書

(適用)

- 1 (1) この特記仕様書は、野里一般廃棄物最終処分場最終覆土業務に適用する。
(2) 本業務は、仕様書のほか、一般廃棄物最終処分場及び産業廃棄物最終処分場に係る技術上の基準を定める省令（昭和52年総・厚令第1号：平成10年一部改正）、その他の諸法令、規格等に関する諸条件に従い行うものとする。

(業務の名称等)

- 2 (1) 業務名 野里一般廃棄物最終処分場最終覆土業務
(2) 業務場所 五所川原市大字野里字山ノ越25番地112
(野里一般廃棄物最終処分場)
(3) 委託期間 契約締結日から令和7年9月30日まで

(埋立地の構造)

- 3 (1) 底面部及び法面部
不織布＋遮水シート（高密度ポリエチレンシート 1.5mm）
(2) 埋立地ガス抜き管
3箇所

(埋立廃棄物の内容)

- 4 焼却残渣、不燃物

(業務の内容)

- 5 (1) ①厚さ50cm以上を確保した最終覆土 $V=9,000\text{ m}^3$ を行う。
②最終覆土は敷均し、締固めにより、整形を行う。

(業務の留意点)

- 6 (1) ①最終覆土に用いる土は、山土（砂質土）とすること（別表参照）。
②土は敷均しに適さない大きさの粘土塊・岩石等の混入が少なく、ごみ、がら、有機物、産業廃棄物等の異物を含まないこと。
③施行前に材料確認書を提出し、発注者の承諾を得ること。
(2) 覆土の表面は、雨水等が溜まらないよう平坦に施行し、礫等が表面に露出しないように施行すること。
(3) 業務に必要な機材、重機等は受注者が用意すること。
(4) 最終覆土に廃棄物を混入させないこと。
(5) 敷鉄板を使用する際は、受注者が責任を持って使用すること。
(6) 遮水シート付近での作業が多いことから、慎重かつ丁寧な作業を実施すること。
(7) 埋立地に設置しているガス抜き管を埋設しないように施行すること。
(8) 廃棄物、覆土が飛散しないように注意すること。飛散した場合は、速やかに清掃、回収をすること。

(変更)

- 7 業務の進行に伴って設計内容と不整合が生じた場合は、その旨を速やかに監督員に申し出、監督員の承諾を得てから変更協議を行うものとする。

別表

名称			説明		摘要
A	B	C			
土	礫質土	礫まじり土	礫の混入があつて掘削時の能率が低下するもの。	礫の多い砂、礫の多い砂質土、礫の多い粘性土	礫 (G) 礫質土 (GF)
	砂質土 及び砂	砂	バケット等に山盛り形状になりにくいもの。	海岸砂丘の砂、マサ土	砂 (S)
		砂質土 (普通土)	掘削が容易で、バケット等に山盛り形状にし易く空げきの少ないもの。	砂質土、マサ土、粒度分布のよい砂、条件の良いローム	砂 (S) 砂質土 (SF) シルト (M)
	粘性土	粘性土	バケット等に付着し易く空げきの多い状態になり易いもの、トラフィカビリティが問題となり易いもの。	ローム、粘性土	シルト (M) 粘性土 (C)
		高含水比粘性土	バケットなどに付着しやすく特にトラフィカビリティが悪いもの。	条件の悪いローム、条件の悪い粘性土、火山灰質粘性土	シルト (M) 粘性土 (C) 火山灰質粘性土 (V) 有機質土 (O)